

各位

上場会社名	株式会社 エスイー
代表者	代表取締役社長 森元 峯夫
(コード番号)	3423)
問合せ先責任者	常務取締役管理本部長 塚田 正春
(TEL)	03-3340-5500)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年5月12日に公表しました平成23年3月期(平成22年4月1日～平成23年3月31日)の通期連結業績予想値および通期個別業績予想値を下記の通り修正しましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	17,350	814	900	537	69.94
今回修正予想(B)	15,355	528	547	321	41.91
増減額(B-A)	△1,994	△285	△352	△215	
増減率(%)	△11.5	△35.1	△39.2	△40.1	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	13,651	615	690	396	51.68

平成23年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	11,620	568	570	296	38.54
今回修正予想(B)	10,872	477	448	258	33.65
増減額(B-A)	△747	△90	△121	△37	
増減率(%)	△6.4	△15.9	△21.3	△12.7	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	11,055	585	562	298	38.89

修正の理由

1. 通期連結業績予想

連結業績予想は、下記「2. 通期個別業績予想」に記載のとおり、個別業績の未達に加え、連結対象子会社において売上高・利益共に業績未達が見込まれます。

株式会社アンジェロセックでは、北アフリカや中東諸国での政変に見られるように、チュニジア国での政変により水関連プロジェクトがストップした影響が挙げられます。エスイーバイオマステクノ株式会社では、南西アフリカ圏向けの浄水化プラントの受注活動でもう一步及ばず、翌期以降に持ち越される見込みとなるためであります。エスイー朝日株式会社および株式会社キョウエイでは、受注環境が上向いてきてはいるものの、もう一步回復しないことから計画未達が予測されます。また、韓国の持分法適用会社である株式会社コリアエスイーでは、長雨や寒波等の影響で現場工事中断があり、これによる下期での業績が伸びず、連結利益減少の要因となりました。

この結果、前回発表予想に比べ売上高は1,994百万円減少の15,355百万円、営業利益は285百万円減少の528百万円、経常利益は352百万円減少の547百万円、当期純利益は215百万円減少の321百万円となる見込みであります。

2. 通期個別業績予想

個別業績予想は、前回発表予想に比べ売上高は747百万円の減少が見込まれます。内訳は、「環境・防災分野」で191百万円、「橋梁構造分野」で310百万円、「レンタル・その他分野」で246百万円とそれぞれ減少が見込まれます。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災による影響につきましては、当社における生産設備等への被害はほとんどありません。しかしながら、国土交通省は直轄工事において震災対応を優先させる方針から、一時中止命令を出すよう各地方整備局に通知しました。これを受けて当社においても、売上高減少の影響が見込まれます。

当社の市場環境は、公共事業費で対前年比18.3%削減の影響もあり、非常に厳しい状況で推移しております。このようななか、「環境・防災分野」では、主力製品の『アンカー』において特に売上高の減少が見込まれます。「橋梁構造分野」では、『斜材FUT-H』が斜材架設工事物件の確保でほぼ計画通りに推移したものの、『橋梁FUT』および『外ケーブル』では厳しい受注競争もあり計画には達しないものと予測されます。「レンタル・その他分野」では、新たに事業展開したりリペア・テクノ事業はようやく緒についた状況であるため、当期においては計画未達が予想されます。

利益面では、売上高の減少に伴う売上総利益の減少、販売費および一般管理費の減少、営業外費用では「為替差損」22百万円の発生、特別利益では「国庫補助金収入」36百万円の発生で、営業利益は90百万円減少の477百万円、経常利益は121百万円減少の448百万円、当期純利益は37百万円減少の258百万円を見込んでおります。

(注)上記業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上